

2023



こころの格言暦

くらしの標語入り

2022 12 DEC 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

12 日 月 火 水 木 金 土 日
2022 4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30 31

2023
1

日 月 火 水 木 金 土 日
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28

令和5年 平成35年 令和5年 陸月

1	日	1月1日 1月1日 1月1日	感謝の心を伝える
2	月	1月2日 1月2日 1月2日	お寺の参拝を怠らぬ
3	火	1月3日 1月3日 1月3日	ちっちゃな子に接する
4	水	1月4日 1月4日 1月4日	感謝の心を伝える
5	木	1月5日 1月5日 1月5日	お寺の参拝を怠らぬ
6	金	1月6日 1月6日 1月6日	お寺の参拝を怠らぬ
7	土	1月7日 1月7日 1月7日	お寺の参拝を怠らぬ
8	日	1月8日 1月8日 1月8日	お寺の参拝を怠らぬ
9	月	1月9日 1月9日 1月9日	お寺の参拝を怠らぬ
10	火	1月10日 1月10日 1月10日	お寺の参拝を怠らぬ
11	水	1月11日 1月11日 1月11日	お寺の参拝を怠らぬ
12	木	1月12日 1月12日 1月12日	お寺の参拝を怠らぬ
13	金	1月13日 1月13日 1月13日	お寺の参拝を怠らぬ
14	土	1月14日 1月14日 1月14日	お寺の参拝を怠らぬ
15	日	1月15日 1月15日 1月15日	お寺の参拝を怠らぬ
16	月	1月16日 1月16日 1月16日	お寺の参拝を怠らぬ
17	火	1月17日 1月17日 1月17日	お寺の参拝を怠らぬ
18	水	1月18日 1月18日 1月18日	お寺の参拝を怠らぬ
19	木	1月19日 1月19日 1月19日	お寺の参拝を怠らぬ
20	金	1月20日 1月20日 1月20日	お寺の参拝を怠らぬ
21	土	1月21日 1月21日 1月21日	お寺の参拝を怠らぬ
22	日	1月22日 1月22日 1月22日	お寺の参拝を怠らぬ
23	月	1月23日 1月23日 1月23日	お寺の参拝を怠らぬ
24	火	1月24日 1月24日 1月24日	お寺の参拝を怠らぬ
25	水	1月25日 1月25日 1月25日	お寺の参拝を怠らぬ
26	木	1月26日 1月26日 1月26日	お寺の参拝を怠らぬ
27	金	1月27日 1月27日 1月27日	お寺の参拝を怠らぬ
28	土	1月28日 1月28日 1月28日	お寺の参拝を怠らぬ
29	日	1月29日 1月29日 1月29日	お寺の参拝を怠らぬ
30	月	1月30日 1月30日 1月30日	お寺の参拝を怠らぬ
31	火	1月31日 1月31日 1月31日	お寺の参拝を怠らぬ

愛情はひたすら注ぎ込むもの
何の見返りも求めない

若い女性を中心に「愛されること」を願う人が多いようですが、「愛する」喜びのほうではるかに大きく、また自分の心が積極的に働きかけるという意味でも重要である。ただし愛というのは基本的に一方的なもの。取り引きでも駆け引きでもない。見返りを求めない純粋な気持ちだからこそ、真く美しいのだ。もっともお互いに愛情を同じように注ぎあえる関係なら、それに類したことはない。

1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31

2023
2

1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31

令和5年 平成35年 如月

※印は祝祭日・国民の休日、◎印は国民の休日、◎印は国民の休日、◎印は国民の休日、◎印は国民の休日

1	水	日 1 - 11 おひめ、おし 人 祭 人 祭	びんごから手をぬく
2	木	日 1 - 12 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
3	金	日 1 - 13 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
4	土	日 1 - 14 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
5	日	日 1 - 15 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
6	月	日 1 - 16 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
7	火	日 1 - 17 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
8	水	日 1 - 18 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
9	木	日 1 - 19 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
10	金	日 1 - 20 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
11	土	日 1 - 21 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
12	日	日 1 - 22 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
13	月	日 1 - 23 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
14	火	日 1 - 24 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
15	水	日 1 - 25 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
16	木	日 1 - 26 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
17	金	日 1 - 27 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
18	土	日 1 - 28 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
19	日	日 1 - 29 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
20	月	日 1 - 30 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
21	火	日 1 - 31 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
22	水	日 1 - 32 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
23	木	日 1 - 33 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
24	金	日 1 - 34 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
25	土	日 1 - 35 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
26	日	日 1 - 36 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
27	月	日 1 - 37 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり
28	火	日 1 - 38 おひめ、おし 人 祭 人 祭	おひめまつり

大事には肩の力を抜いて
小事には全力を集中して当たれ

重要な場面では、誰しも固くなり緊張のあまり失敗したり判断を誤りかねる。また大したことではないと思うことに対しては、ついつい強い気持ちでことにあたるものがある。しかし本当にうまくやるには、その反対の心がまえを持つのがいい。大事事はリラックスして、全体の状況に注ぐ心を配るよう。また小さなことにこそ気配を注ぎ、細心の注意をもって対処するほうがいい。

2 日 月 火 水 木 金 土 日
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28

2023
3

1 4
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29

令和5年 平成35
前期第 弥生

1	水	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
2	木	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
3	金	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
4	土	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
5	日	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
6	月	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
7	火	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
8	水	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
9	木	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
10	金	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
11	土	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
12	日	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
13	月	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
14	火	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
15	水	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
16	木	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
17	金	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
18	土	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
19	日	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
20	月	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
21	火	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
22	水	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
23	木	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
24	金	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
25	土	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
26	日	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
27	月	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
28	火	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
29	水	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
30	木	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ
31	金	あけふのこ うけふのこ	あけふのこ

幼稚園であるだけの事を
若さだと誤解してはいけない

かつては長者が敬われ「老」というのは尊敬の意味がこもった言葉だったのが、文明の進歩が早くなってからは、古い経験より新しい知識が重んじられ、若さが軽をきかすようになった。しかし差別にあふれ気力・体力とも充実しているという意味の若さならいいのだが、いつまでも子供のようにふるまい、他人の心をえまわらない無邪気さが、若さと勘違いされていることも多いようだ。

3 日 月 火 水 木 金 土
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31

2023
4

日 月 火 水 木 金 土 5
1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31

令和5年 平成35年 卯月

※旧暦4月1日は4/19日、旧暦4月2日は4/20日、旧暦4月3日は4/21日、旧暦4月4日は4/22日、旧暦4月5日は4/23日、旧暦4月6日は4/24日、旧暦4月7日は4/25日、旧暦4月8日は4/26日、旧暦4月9日は4/27日、旧暦4月10日は4/28日、旧暦4月11日は4/29日、旧暦4月12日は4/30日、旧暦4月13日は5/1日、旧暦4月14日は5/2日、旧暦4月15日は5/3日、旧暦4月16日は5/4日、旧暦4月17日は5/5日、旧暦4月18日は5/6日、旧暦4月19日は5/7日、旧暦4月20日は5/8日、旧暦4月21日は5/9日、旧暦4月22日は5/10日、旧暦4月23日は5/11日、旧暦4月24日は5/12日、旧暦4月25日は5/13日、旧暦4月26日は5/14日、旧暦4月27日は5/15日、旧暦4月28日は5/16日、旧暦4月29日は5/17日、旧暦4月30日は5/18日

1	土	旧暦1・11 ひつじのし 土 みづのし 土	テレビは20時離れて見る
2	日	旧暦2・12 ひつじのし 土 みづのし 土	仏壇よりお香が香く見える
3	月	旧暦3・13 ひつじのし 土 みづのし 土	健康にはお風呂がよい
4	火	旧暦4・14 ひつじのし 土 みづのし 土	年中に一度は歯を磨く
5	水	旧暦5・15 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂は必ずお風呂に入る
6	木	旧暦6・16 ひつじのし 土 みづのし 土	おーちゃんを覚えておくといい
7	金	旧暦7・17 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
8	土	旧暦8・18 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
9	日	旧暦9・19 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
10	月	旧暦10・20 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
11	火	旧暦11・21 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
12	水	旧暦12・22 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
13	木	旧暦1・23 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
14	金	旧暦2・24 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
15	土	旧暦3・25 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
16	日	旧暦4・26 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
17	月	旧暦5・27 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
18	火	旧暦6・28 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
19	水	旧暦7・29 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
20	木	旧暦8・30 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
21	金	旧暦9・1 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
22	土	旧暦10・2 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
23	日	旧暦11・3 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
24	月	旧暦12・4 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
25	火	旧暦1・5 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
26	水	旧暦2・6 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
27	木	旧暦3・7 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
28	金	旧暦4・8 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
29	土	旧暦5・9 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る
30	日	旧暦6・10 ひつじのし 土 みづのし 土	お風呂にもお風呂に入る

反対意見は二度聞かいい
敵意よりも好意をもつてもう一度

反対の意見というのは、決して心機よいものではない。反対というだけで、ま
ずお互いに敵意を抱いてしまう。これでは意見が正しく聞かれない。1度目
は思わず敵意を感じても、もう1度同じ言葉を今度はむしろ好意を持って真
心に聞いてみてはどうか。顔からは伝わらないとは違いますが聞かなくて
も構わない。それでもなお根本的に意見が違えば、意見はそれからでも聞か
ない。

4 日 月 火 水 木 金 土 日
 2 3 4 5 6 7 8
 9 10 11 12 13 14 15
 16 17 18 19 20 21 22
 23 24 25 26 27 28 29

2023
 5

日 月 火 水 木 金 土 日
 1 2 3
 4 5 6 7 8 9 10
 11 12 13 14 15 16 17
 18 19 20 21 22 23 24
 25 26 27 28 29 30

令和5年 平成35 年 5月

※印刷用紙はA4用紙、縦向きで印刷。印刷用紙はA4用紙で印刷。印刷用紙はA4用紙で印刷。

1	月	1月1日	青空を飛ばす
2	火	1月2日	冬の寒さは冬の寒さ
3	水	1月3日	冬の寒さは冬の寒さ
4	木	1月4日	冬の寒さは冬の寒さ
5	金	1月5日	冬の寒さは冬の寒さ
6	土	1月6日	冬の寒さは冬の寒さ
7	日	1月7日	冬の寒さは冬の寒さ
8	月	1月8日	冬の寒さは冬の寒さ
9	火	1月9日	冬の寒さは冬の寒さ
10	水	1月10日	冬の寒さは冬の寒さ
11	木	1月11日	冬の寒さは冬の寒さ
12	金	1月12日	冬の寒さは冬の寒さ
13	土	1月13日	冬の寒さは冬の寒さ
14	日	1月14日	冬の寒さは冬の寒さ
15	月	1月15日	冬の寒さは冬の寒さ
16	火	1月16日	冬の寒さは冬の寒さ
17	水	1月17日	冬の寒さは冬の寒さ
18	木	1月18日	冬の寒さは冬の寒さ
19	金	1月19日	冬の寒さは冬の寒さ
20	土	1月20日	冬の寒さは冬の寒さ
21	日	1月21日	冬の寒さは冬の寒さ
22	月	1月22日	冬の寒さは冬の寒さ
23	火	1月23日	冬の寒さは冬の寒さ
24	水	1月24日	冬の寒さは冬の寒さ
25	木	1月25日	冬の寒さは冬の寒さ
26	金	1月26日	冬の寒さは冬の寒さ
27	土	1月27日	冬の寒さは冬の寒さ
28	日	1月28日	冬の寒さは冬の寒さ
29	月	1月29日	冬の寒さは冬の寒さ
30	火	1月30日	冬の寒さは冬の寒さ
31	水	1月31日	冬の寒さは冬の寒さ

子供は努力が評価されるが
 大人は結果が求められる

子供の失敗には、大人がカバーしてやる。だから結果がたえず良くなる。正しく努力したこと自体をほめてもらえる。そして子供は努力することの喜びを学ぶのだ。なまじ努力なしにいい結果が出ると、その後の長い人生のためにやがてマイナスがもたらされる。しかし大人は逆だ。とにかく結果を返さなければならぬ。努力は言いわけにならない。悪いがこれが現実だ。

5 日 月 火 水 木 金 土
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31

2023
6

日 月 火 水 木 金 土 1 7
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29

令和5年 平成35
年 6月 水無月

※旧暦6月1日は夏至、旧暦6月13日は夏至、旧暦6月15日は夏至、旧暦6月17日は夏至

1	木	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	やると決めたことをやる
2	金	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	たしきき口にする
3	土	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	自分の機嫌は自分で
4	日	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	相手の事になって考える
5	月	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	あけなはいつも静寂に
6	火	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	電気の線路は電線に
7	水	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	ベッドの下を掃除機に
8	木	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	広まにはホームパーティーを
9	金	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	読書で人を判断する
10	土	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	以前をはっきり11日
11	日	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	中世の歴史はついに
12	月	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	新しい新しい情報に
13	火	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	食事の味を
14	水	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
15	木	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	あしやの静寂に
16	金	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
17	土	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
18	日	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
19	月	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
20	火	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
21	水	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
22	木	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
23	金	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
24	土	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
25	日	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
26	月	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
27	火	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
28	水	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
29	木	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を
30	金	日 4 - 12 月の 1 - 10 土 11 - 19	静寂に心を

止まなかつた雨はあめ
曇らなかつた晴天もな
曇らなかつた晴天もな

どんなに不思議でも、いつかはきっと上向きの時がやってくる。だから決してあきらめてはいけません。またどんなに好都合なことも、それがいつまでも続くことはありません。いつか下向きになることを覚悟しておくほうがいい。自然界ではごくあたりまえの気象の変化。そこにも大きな教訓がある。つい悩まずに。有楽天になりすぎる人間のおろそかさをふだんから心得ておくべきだ。

6 日 月 火 水 木 金 土
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30

2023
7

日 月 火 水 木 金 土 8
1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31

令和5年 平成35
年 月 日

1	土	1 ひつじ ひつじ	1 ひつじ ひつじ	1 ひつじ ひつじ
2	日	2 うし うし	2 うし うし	2 うし うし
3	月	3 うし うし	3 うし うし	3 うし うし
4	火	4 うし うし	4 うし うし	4 うし うし
5	水	5 うし うし	5 うし うし	5 うし うし
6	木	6 うし うし	6 うし うし	6 うし うし
7	金	7 うし うし	7 うし うし	7 うし うし
8	土	8 うし うし	8 うし うし	8 うし うし
9	日	9 うし うし	9 うし うし	9 うし うし
10	月	10 うし うし	10 うし うし	10 うし うし
11	火	11 うし うし	11 うし うし	11 うし うし
12	水	12 うし うし	12 うし うし	12 うし うし
13	木	13 うし うし	13 うし うし	13 うし うし
14	金	14 うし うし	14 うし うし	14 うし うし
15	土	15 うし うし	15 うし うし	15 うし うし
16	日	16 うし うし	16 うし うし	16 うし うし
17	月	17 うし うし	17 うし うし	17 うし うし
18	火	18 うし うし	18 うし うし	18 うし うし
19	水	19 うし うし	19 うし うし	19 うし うし
20	木	20 うし うし	20 うし うし	20 うし うし
21	金	21 うし うし	21 うし うし	21 うし うし
22	土	22 うし うし	22 うし うし	22 うし うし
23	日	23 うし うし	23 うし うし	23 うし うし
24	月	24 うし うし	24 うし うし	24 うし うし
25	火	25 うし うし	25 うし うし	25 うし うし
26	水	26 うし うし	26 うし うし	26 うし うし
27	木	27 うし うし	27 うし うし	27 うし うし
28	金	28 うし うし	28 うし うし	28 うし うし
29	土	29 うし うし	29 うし うし	29 うし うし
30	日	30 うし うし	30 うし うし	30 うし うし
31	月	31 うし うし	31 うし うし	31 うし うし

最初だと思えば謙虚になる
最後だと思えば丁寧になる

「賢れる」のほいほ「賢れる」のはよくない。同じ仕事をくり返してると、上達するが同時に仕事に対する心が衰えが次第にやってくる。初めに民衆とはよく言われることだ。一方で「一聞一会」とも言う。何事もこれが一生に一度聞かぬこととを思えば、おろそかな気持ちではできない。つい忘れてしまいうる毎日のこと。こんな心がまえであれば、賢明さも保たれる。

8 日 月 火 水 木 金 土
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31

2023
9

1 2 3 4 5 6 7 10
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31

令和5年 平成35
前期第9 長月

※印は祝祭日・振替休日、◎印は国民の休日、◎印は国民の休日、◎印は国民の休日、◎印は国民の休日

1	金	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	カーテンを覚えて覚えて
2	土	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	仏壇より仏壇が動く
3	日	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	富士山が動く
4	月	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	いいお月見が来る
5	火	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	小鳥は丸ごちをよる
6	水	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	仏壇が動く
7	木	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
8	金	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
9	土	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	仏壇の仏壇が動く
10	日	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
11	月	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
12	火	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
13	水	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
14	木	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
15	金	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
16	土	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
17	日	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
18	月	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
19	火	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
20	水	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
21	木	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
22	金	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
23	土	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
24	日	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
25	月	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
26	火	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
27	水	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
28	木	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
29	金	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く
30	土	二重十通 みずのし、い ふ、ふ、ふ	佛壇の仏壇が動く

言葉は口から耳へではなく
目から目に伝わり心に届く

1字が変化したことの意味として、人と人に向かっている言葉がうまくできない人が増えたり、相手の目をみて話すということができない、しかし単なるゲーム的感覚ならともかく、心と心を通わせるような気持ちは、互いに目をそらしてはできない、目で話し耳で聞いてはいても、その真意をくみとりを動かされるのは、目と目が通った時、これこそ本当の1字の基本だ。

10 日 月 火 水 木 金 土
9 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31

2023
11

1 2
3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30

令和5年 平成35年 霜月

※旧暦の月日は左記、旧暦の日付は、旧暦の日付に1日加算する。旧暦の日付は、旧暦の日付に1日加算する。

1	水	霜月 1日 11月1日	寒さに負けず運動をする
2	木	霜月 2日 11月2日	寒い天気に人間が出る
3	金	霜月 3日 11月3日	秋の静けさは感じる
4	土	霜月 4日 11月4日	霜降をはっきりと知る
5	日	霜月 5日 11月5日	少しは晴れを待つ
6	月	霜月 6日 11月6日	霜降は成長を促す
7	火	霜月 7日 11月7日	霜の降りは寒い日に
8	水	霜月 8日 11月8日	あじは湯気よけに
9	木	霜月 9日 11月9日	静寂にこそ感じるもの
10	金	霜月 10日 11月10日	ひまわりを眺めながら散歩をする
11	土	霜月 11日 11月11日	美しい風景は心を癒す
12	日	霜月 12日 11月12日	子どもには自然に育つ環境を作る
13	月	霜月 13日 11月13日	寒くない環境を必ず作る
14	火	霜月 14日 11月14日	相手の身になって考える
15	水	霜月 15日 11月15日	霜降は季節の変わり目
16	木	霜月 16日 11月16日	霜降は季節の変わり目
17	金	霜月 17日 11月17日	霜降は季節の変わり目
18	土	霜月 18日 11月18日	霜降の静けさに門を叩く
19	日	霜月 19日 11月19日	あけしほけは季節の変わり目
20	月	霜月 20日 11月20日	霜降の静けさを味わう
21	火	霜月 21日 11月21日	みずあけに水をあけよう
22	水	霜月 22日 11月22日	霜降の静けさを味わう
23	木	霜月 23日 11月23日	霜降の静けさを味わう
24	金	霜月 24日 11月24日	霜降の静けさを味わう
25	土	霜月 25日 11月25日	霜降の静けさを味わう
26	日	霜月 26日 11月26日	霜降の静けさを味わう
27	月	霜月 27日 11月27日	霜降の静けさを味わう
28	火	霜月 28日 11月28日	霜降の静けさを味わう
29	水	霜月 29日 11月29日	霜降の静けさを味わう
30	木	霜月 30日 11月30日	霜降の静けさを味わう

あたま
頭がいいだけの人よりも
心の優しい人が幸福を運んでくる

子供が生まれたら、とにかく「頭のいい子に」といった風潮がある。しかし大人になって本当に自分も幸せになり、周囲の人も幸せにしているのは、いったいどういった人達だろう。ちょっと自分のまわりを見れば、頭がよくて切れる人よりも、心が温かく優しい人のほうが幸福をもたらしていることがわかる。お金や社会的地位が高いこと、幸福であることは決して無関係ではないのだ。

1	金	第 12 - 18 みずのほ ち 三 原 浩 通	こたつから暖房特選
2	土	第 12 - 20 みずのほ ち 三 原 浩 通	3歳ぐらいに開演を止める
3	日	第 12 - 21 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇に使ってちへんない
4	月	第 12 - 22 みずのほ ち 三 原 浩 通	観しきりにちへんあがり
5	火	第 12 - 23 みずのほ ち 三 原 浩 通	自転車のおまじに遊ぶ
6	水	第 12 - 24 みずのほ ち 三 原 浩 通	映画は心の準備
7	木	第 12 - 25 みずのほ ち 三 原 浩 通	おまじにはホームパーティー
8	金	第 12 - 26 みずのほ ち 三 原 浩 通	先一歩に踏み出す
9	土	第 12 - 27 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心をあきらめる
10	日	第 12 - 28 みずのほ ち 三 原 浩 通	子どもを叱るべきときを待つ
11	月	第 12 - 29 みずのほ ち 三 原 浩 通	人を見る目をあきらめる
12	火	第 12 - 30 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇に使うべきときを待つ
13	水	第 12 - 31 みずのほ ち 三 原 浩 通	トイレット紙の量を減らす
14	木	第 12 - 32 みずのほ ち 三 原 浩 通	おまじには演劇の心を
15	金	第 12 - 33 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心をあきらめる
16	土	第 12 - 34 みずのほ ち 三 原 浩 通	よい演劇はよい演劇をつくる
17	日	第 12 - 35 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
18	月	第 12 - 36 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
19	火	第 12 - 37 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
20	水	第 12 - 38 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
21	木	第 12 - 39 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
22	金	第 12 - 40 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
23	土	第 12 - 41 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
24	日	第 12 - 42 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
25	月	第 12 - 43 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
26	火	第 12 - 44 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
27	水	第 12 - 45 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
28	木	第 12 - 46 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
29	金	第 12 - 47 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
30	土	第 12 - 48 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇
31	日	第 12 - 49 みずのほ ち 三 原 浩 通	演劇の心を演劇の心を演劇

どんな時代でも心意気は
お金以上に人を動かす力を持つ

せよといふは同でも平に入る。せよといふば人は動く。これは確かに一面の真理ではある。しかし何の得もないのに、あるいは損をすることが見えているのに、さらにには生命の危険とせよといふまでに、人は動くことがあつた。それが人間の不普通なところであり、普通にはこのやうな動くより、更にそれを見たらぬの多し。不可動に立寄りてこそか動かざるのだから、人間も動物とあらうではない。